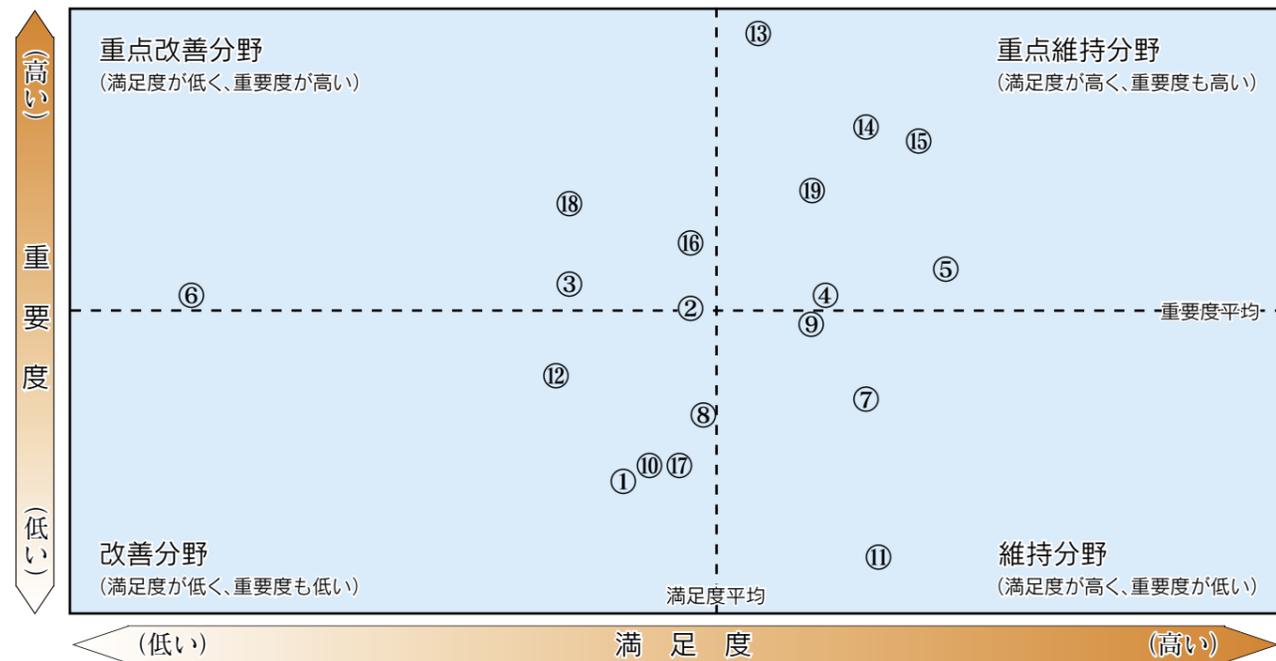


市の取り組みについての満足度と重要度（重視すべき取り組み）

総合計画において、まちづくりの目標を実現するために掲げている下記①～⑱の取り組み目標について、概ねここ5年間の市の取り組み状況を評価していただきました。また、これからの5年間、まちづくりの目標をめざすうえで、市にとってどのような取り組みが、どの程度重要かをお聞きしました。

いただいた評価（満足度）と重要度を以下の4つの区分に分類し図表化しました。今後、取り組んでいくうえで、特に、満足度に対する重要度が相対的に高い取り組み目標（重点改善分野等）については、重視すべき取り組みとなります。



- ①市民自らが南あわじ市の魅力をPRし、南あわじファンを増やす
- ②観光地の魅力や行きやすい環境を整え、観光・宿泊客など来訪者を増やす
- ③豊かな農地や海の自然を守り、農業や漁業に携わる市民を育てる
- ④安全でおいしい地元の食材を、地元で購入し飲食できる場所を増やす
- ⑤南あわじの特産品・ブランド品のPRや、新たな地域ブランド品の開発を進める
- ⑥市内の商業や工業を元気にし、地元で働ける場を増やす
- ⑦地域の歴史、祭、伝統文化等に市民が親しみ、継承者を育てている
- ⑧互いの人権を尊重し、感謝の心や思いやりのある人を育てる
- ⑨南あわじの活力を生み出す市民や子どもたちを育てるため、学校教育や生涯学習を充実する
- ⑩南あわじ市をよくする地域活動に参加するNPOや市民団体を育てる
- ⑪芸術文化活動やスポーツ活動を盛んにする
- ⑫子どもたちや市民の遊び・憩いの場（公園など）を充実する
- ⑬住宅や公共施設の災害に対する安全性や、災害に対する市民の意識を高める
- ⑭防犯や安全への意識を高めるとともに、犯罪や交通事故などの危険から子どもや市民を守る
- ⑮健康増進や予防の意識を高めるとともに、医療・救急医療の受診体制を整える
- ⑯高齢者が生き生きと活動したり、社会貢献活動や働いたりできる場を充実する
- ⑰公共交通やバリアフリー環境の充実など、市民が安心してまちに出て、日常生活や地域での交流が行える環境をつくる
- ⑱子どもや要介護者をもつ共働き夫婦などが、安心して生活できるよう、地域全体で支える
- ⑲ゴミのない清潔感あふれる安らぎの住環境をつくる

自由意見

自由意見として、多くの人からご意見をいただきました。個々の意見を分類区分し、市のホームページに掲載しております。貴重なご意見ありがとうございました。

総合計画 後期基本計画の策定にかかる 市民アンケート調査結果

市では、市政運営の最も基本となる総合計画（計画期間：平成19年度～28年度）の後期5年間の計画期間とする「後期基本計画」の策定に取り組んでいます。

昨年9月、市民の皆さんに、今までの取り組みについての評価（満足度）と今後の取り組みについて、どの程度重要だと考えているのか（重要度）をお聞きし、前期の計画で位置づけたまちづくりの目標の見直しや、重視すべき取り組みを見定め、計画策定の基礎資料とするために「市民アンケート調査」を行いました。調査の主な結果をお知らせします。

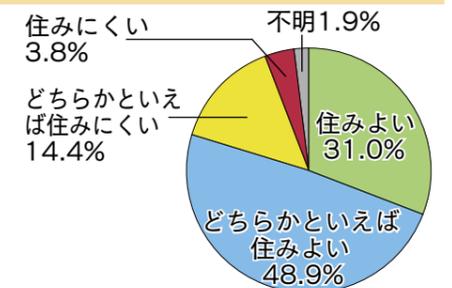
なお、調査結果の詳細は市のホームページで公開しています。ご協力ありがとうございました。

アンケート調査について

市内に居住する16歳以上の3,000人（無作為抽出）に郵送による調査を依頼し、1,404人（回収率46.8%）から回答をいただきました。男性が45.4%、女性が53.0%で、概ねバランスのとれた年齢層から回答が得られています。家族人数では、4人で居住している人が21.7%と最も多く、年齢構成では、65歳以上の方が2人以上いる家族が29.3%、また、18歳未満の人が1人もいない家族が47.0%とそれぞれ最も多く、少子高齢化の様相がみられます。

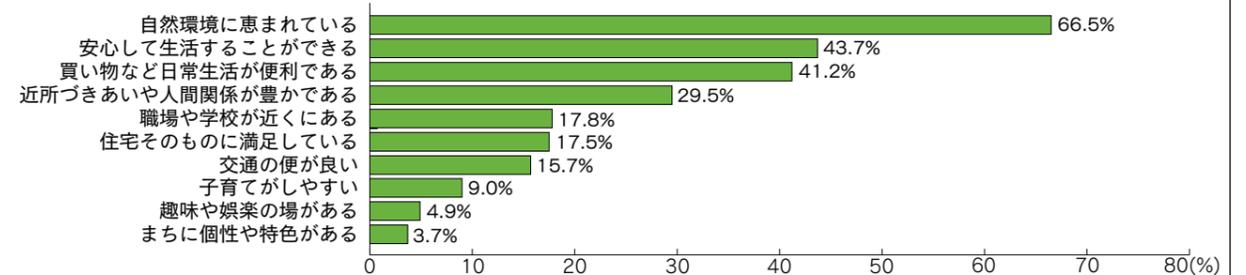
住みよいまちですか？

「どちらかといえば住みよい」と「住みよい」を合わせると約8割の人が住みよいとの感想をもっています。年齢別では、60歳代以上で「住みよい」と回答された人が相対的に多くなっています。また、「どちらかといえば住みにくい」と回答された人は、市外での居住経験がある人が多い傾向にあります。職業別では、農林漁業、無職、自営業・自由業において「住みよい」と回答された人が相対的に多くなっています。



〈住みよいと感じられる魅力〉

「自然環境に恵まれている」が66.5%と最も多く、次いで「安心して生活することができる」が43.7%と続いています。海や山、農地を含めた豊かな自然環境が魅力になっていることがわかります。



〈住みにくいと感じられる理由〉

「交通の便が悪い」が87.1%と最も多く、次いで「買い物など日常生活が不便である」が54.3%、「趣味や娯楽の場が少ない」が46.5%と続いています。

都市部より豊かであるといわれる「近所づきあいや人間関係」が、住みよい魅力として約3割を占める一方で、住みにくい理由としても2割強の人が「うまくいかない」としています。

